

子どもと美術・造形活動に関する研究

最終更新日：2016年8月31日

美術教育講座
准教授
笹原 浩仁

キーワード 子ども, 美術, 図画工作, 造形活動, 自然, 地域, 暮らし, 伝統

研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)

子どもたちが、からだすべての感覚で感じ、全身を使い、心躍らせながら、つくり、描き、表現する、美術・造形の活動について研究しています。

それは、彼らが、自然の豊かさ、力強さやこまやかさ、厳しさやあたたかさ、爽やかさ、と出会う活動であり、また、その自然のなかで、今日まで脈々と積まれてきた人の暮らしと智恵とに出会う活動でもあります。その子どもたちの表現のなかからは、きっと未来を創造してくれる力が生まれてきます。



成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

- 保・幼、小・中・高等学校、特別支援学校の教育現場における、美術科、図画工作科、その他すべての教科・領域における子ども、生徒の造形表現教育の教材開発、教材研究、授業づくりを支援することができます。
- 地域の伝統の造形、自然の特質を、学校・社会教育へとつなぐ教育活動を提案、提供できます。
- 子どもたちが安全に豊かに色を楽しめる彩色材料を開発、提供しています。



これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- 福岡県教育センター・キャリアアップ講座「図画工作科教材研究」、「美術科教材研究」
- 教員免許更新講習「手づくりものづくり」
- 各地小学校、特別支援学校、図画工作研究会等への出前授業、実技講習、研究会指導・助言、児童画展審査
- 福岡市障がい児・者美術展審査副委員長